

てんてい新聞

15. 7. No217
発行 市岡田
責任 0863-88-5292

安保法案に
反対

この季節には、元気をとらえる事が多く
くびる。なまごころに事ごと、きょうと違う今
日に出逢える。

散歩していると、なまごころを鳴き声かす
「何かなあ」と立ち止まり周囲に注意を向け
ると、ヒナ鳥が数羽、木の葉の洞に見えか
れ、親鳥が警戒音をたたくながら、動いて
きょうも マンドリの親子だ、

元気が大なる?

また、あまの草、家の周囲の草刈りをし
軒下から小鳥が飛び出た。さかしくしと
い、ウロウロ、なんと、午雲甲に横た
ているカスツの中にも葉が見つか
卵がある。それなら、数日ごとに、静かに観察
とス鳥が暖めてくれる。どうやらオオルリ
さあ、葉をみになさる。今日か、今日かと思
に行くと、巣をみつけた二十日目ぐういにやうとヒナ
が顔を出す。どうやら四羽らしい。

左の鳥の様子です。
日毎に大きくはまきく鳴き声
が大きくはまきく。



少く羽に色もつきはじめ、オス
めいそうじ。
七月一日の朝、ヒナの事が重
えた。雨の朝、午前中は
雨だった。午後にはあがる。
帰ってきた、久し振りに写真
に写そうと、ウキウキして近
おくと、なんと、空にまっ
ている。
カラスかへびに食べられた
ようだ、ガカリする。
しばらく、あれ、これ考えて
にが、それだけか、生きた鳥に
他の生命を食べているのは
理解している、それだと喰
つに生き物を憎んでしまつ。
勝ちの事だが、オオルリの
ヒナがわいそうじ、...

暑中お見舞

奉合遠望 (東環流元面より)



私 **生きま**

好かれにくく、相谷の自然の一員に違
はしく、それだけが生きまといふこと。
それごと、花が色鮮かごつたりすると、大
切にされたり、勝手に他に植えられり
してしまつ。それごと、相谷の自然の中
大きな環境をかめらうお、おれおにすむ
この内、植物調査に行き、名前を知
に草花が多くあり、楽にかつた。
たに、株数は少なくはなつて、様ごと
大切な物がまに増え、気がしまし
さ、人も含め、どちらが上手に生き
ていくの、どうするか。